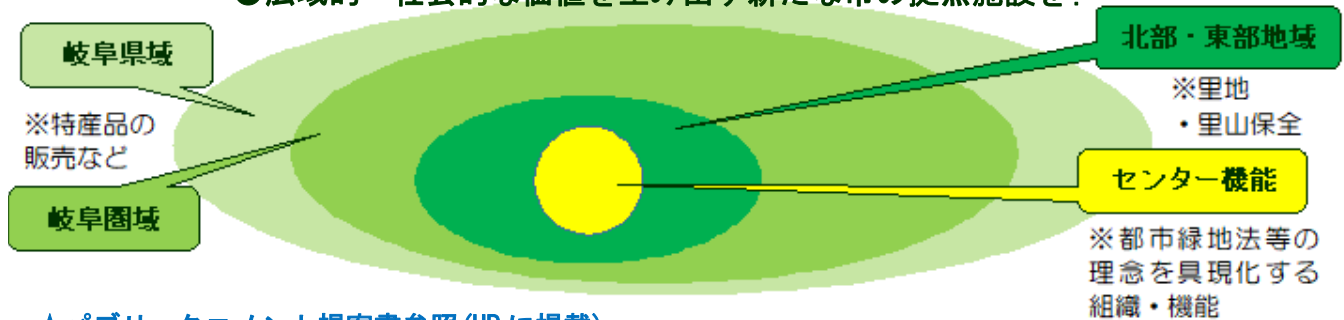


持続可能な都市を標榜・・・ 市と地域の拠点施設を

まちづくりの芽

ファイル 7 畜産センター

●広域的・社会的な価値を生み出す新たな市の拠点施設を！



★パブリックコメント提案書参照 (HP に掲載)

●期待されるコンセプト

- ・岐阜市ならではのコンセプト
- ・地域核の一つとして拠点機能を発揮
- ・北部・東部の里地里山の保全施策を具体的に推進
- ・オールシーズン楽しむことのできる体験学習の場を創出
- ・地域への回遊道、登山道の整備

●県、近隣自治体との連携し、都市施設に求められる安全・便利なアクセス道を確保・整備

- ・山県市も含め、周辺地域から子どもたちが徒歩や自転車で訪れることのできる安全な道路の確保。
- ・山県 IC からの安全なアクセス道路の整備。

【現況・課題と解決の方向性(案)】

令和 7 年春、地域に隣接する畜産センターの再整備計画が示されたことは、近年の閑散とした状況に心を痛めていた住民にとって、勇気づけられる施策と言えます。

体験型の公園であるとともに、宅地開発が進行する北部・東部の里地里山の保全にアプローチするための機能を発揮する拠点施設として、必要かつ最大限の機能が期待されます。また、市の観光拠点として、また市内各地域に多様なまちづくりの核を配置する上からも、大いに期待されます。

一方、都市施設の整備と、安全・快適で渋滞を引き起こさないアクセス道路の確保・整備は、密接不可分の関係にあります。40 万人の集客目標を掲げる以上、車利用の来園者の利便性と安全確保はもとより、近隣地域から子供たちが自転車で安全に訪れる道路施設の整備が欠かせません。また、山県 IC から直結するバイパス整備は、地域の生活道路の危険な通過車両を防ぎ住民の命を守るとともに、住環境を改善する上でも、地域の最重要課題の一つと言えます。



▲畜産センター北側の県道には、連続した歩道がない。



▲山県市とのアクセスは、粟野西地内の狭隘な生活道路に通過車両が頻繁に流入する(1 時間当たり 800 台～400 台。7 時から 19 時まで約 6,600 台)。中学生や小学生の横断箇所には信号は設置できないと言う。



▲粟野台団地の造成前の丘陵の頂から南東を一望【1988 年 3 月 20 日】その後、急激に緑地の多くが消失。